

科目区分	専門科目(必修科目)			
授業名	美容技術理論 I・II	担当講師		
内容 (授業概要)	美容師になる為の美容技術理論を基礎的技術と並行して学ぶ。	学科	美容学科	
		学年クラス	1年	
		設定時期	通年	
		回数	90回	
		時間数	1回=1時限 50分	
目標	美容技術を理論的に理解し、基礎的技術の習得を深める。前期はウィッグ実習に、後期は相モデル実習に即した内容を理論的に習得する。			
授業計画	美容技術理論 I・II	90h	1～3回	序章 美容技術理論を学ぶにあたって 1 美容理論と美容技術 2 美容技術における作業姿勢 3 美容技術に必要な人体各部の名称
			4～15回	第1章 美容用具 1 美容技術における用具 2 コーム 3 ブラシ 4 シザーズ 5 レザー 6 ピン類、ヘアクリップ 7 ロッド 8 ローラー 9 ヘアアイロン 10 ヘアドライヤー 11 ヘアスチーマー 12 遠赤外線機
			16～27回	第2章 シャンプーイング 1 シャンプーイングの総論 2 サイドシャンプー 3 バックシャンプー 4 リンス・コンディショナー 5 スカルプトリートメント 6 ヘッドスパ
			28～36回	第3章 ヘアデザイン 1 美容とデザイン
			37～45回	第4章 ヘアカットイング 1 カットイングとは 2 シザーズとレザーの扱い方 3 美容刃物 4 ヘアカットイングの正しい姿勢 5 ブロッキング 6 ヘアカットイングの基礎理論 7 ベーシックなカット技法 8 シザーズによるカット技法 9 レザーによるカット技法
			46～60回	第8章 エステティック 1 エステティック概論 2 皮膚の生理と構造 3 カウンセリング 4 美容におけるマッサージ理論 5 フェイシャルケア技術 6 フェイシャル及びデコルテマッサージ 7 フェイシャルパック 8 ボディケア技術 9 ボディマッサージ

			第9章 ネイル技術 1 ネイル技術の概論 2 ネイル技術の種類 3 爪の構造と機能 4 爪のカット形状 5 ネイル技術と公衆衛生 6 カウンセリング 7 ネイルケア 8 アーティフィシャルネイル 9 手と足のマッサージ 61～75回
			第10章 メイクアップ 1 メイクアップ概論 2 顔の形態学的な観察 3 メイクアップの色彩 4 皮膚の生理と構造 5 メイクアップの道具 6 スキンケア 7 ペースメイクアップ 8 アイメイクアップ 9 アイブロウメイクアップ 10 リップメイクアップ 11 ブラッシュオンメイクアップ 12 まつ毛エクステンション 76～90回
授業方法	講義形式。教科書に沿った演習問題作成し解くことで、美容師として必要な知識の習得はもちろん、美容師国家試験筆記試験にも対応した実力をつける。		
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。		
教員紹介	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修(実務経験4年以上の者が受講)で教員免許を取得。美容師としての実務経験を活かし、美容師養成に向けて授業を展開する。		
教科書	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 美容実習Ⅰ・Ⅱ(日本理容美容教育センター 発行)		
用具	美容用具や化粧品類など、必要に応じて実物を見せながら視覚的な側面からも理解を深める。		
履修上の注意事項	授業に参加する服装として必ず白衣と本校指定の上履きを着用すること。 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 美容実習Ⅰ・Ⅱの携帯は必須。		

科目区分	専門科目(必修科目)			
授業名	美容技術理論 I・II	担当講師		
内容 (授業概要)	美容師になる為の美容技術理論を基礎的技術と並行して学ぶ。	学科	美容学科	
		学年クラス	2年	
		設定時期	通年	
		回数	60回	
		時間数	1回=1時限 50分	
目標	パーマ・カラーリングのみならず、将来的に幅広い技術が提供できる美容師を目指し、日本髪や着付け技術の知識も深める。			
授業計画	美容技術理論 I・II	60h	1～9回	第5章 パーマネントウェーブ 1 パーマネントウェーブの歴史と現在 2 パーマネントウェーブの理論 3 パーマ剤の分類 4 パーマ剤に関する注意事項 5 パーマネントウェーブ技術 6 ワインディングのバリエーション 7 縮毛矯正
			10～21回	第6章 ヘアセッティング 1 ヘアセッティングとは 2 ヘアパーティング 3 ヘアシェーピング 4 ヘアカーリング 5 ヘアウェービング 6 ローラーカーリング 7 ブロードドライ 8 アイロンセッティング 9 バックコーミング 10 アップスタイル 11 ウィッグとヘアピース
			22～30回	第7章 ヘアカラーリング 1 ヘアカラーリング概論 2 ヘアカラーの種類 3 ヘアカラーのタイプ別特徴 4 染毛のメカニズム 5 色の基本 6 毛髪のレベルとアンダートーン 7 パッチテスト 8 染毛剤使用時の注意事項 9 ヘアカラーリングの道具 10 酸化染毛剤の技術手順 11 酸性染毛料の技術手順 12 ヘアブリーチ
			31～45回	第11章 日本髪 1 日本髪の由来 2 日本髪の各部の名称 3 日本髪の種類と特徴 4 日本髪と調和 5 日本髪の装飾品 6 日本髪の結髪道具 7 日本髪の結髪技術 8 日本髪の手入れ 9 かつら

			第12章 着付の理論と技術 1 着付の目的 2 礼装 3 着物と季節 4 着物のいろいろ 5 帯 6 小物 7 着物各部の名称 8 着物のたたみ方 46～60回 9 着付の一般的要領 10 留袖着付技術 11 振袖着付技術 12 帯締め、帯揚げの結び方 13 男子礼装羽織、袴着付技術 14 羽織のひもの結び方 15 女子袴着付技術 16 婚礼着付の際の注意事項 17 和装花嫁 18 洋装花嫁
授業方法	講義形式。教科書に沿った演習問題作成し解くことで、美容師として必要な知識の習得はもちろん、美容師国家試験筆記試験にも対応した実力をつける。		
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。		
教員紹介	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修（実務経験4年以上の者が受講）で教員免許を取得。美容師としての実務経験を活かし、美容師養成に向けて授業を展開する。		
教科書	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 美容実習Ⅰ・Ⅱ（日本理容美容教育センター 発行） ワークブック		
用具	美容用具や化粧品類など、必要に応じて実物を見せながら視覚的な側面からも理解を深める。		
履修上の注意事項	授業に参加する服装として必ず白衣と本校指定の上履きを着用すること。 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 美容実習Ⅰ・Ⅱの携帯は必須。		